

平成28年度全国・学力学習状況調査に係る調査結果等の情報提供について

平素は、本校教育にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、去る 4 月 19 日（火）に本校も平成 28 年度全国学力・学習状況調査に参加しました。

葛川小学校としての、調査結果の概要と今後の指導の充実に向けての方向性を記載いたしました。

ご一読いただきますと共に、子ども達の学力向上に向けて、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

記

【調査結果について】

《概要》

【国語A】【算数A】では、どの問題でも概ね良好な結果でした。一方、【国語B】では、「話すこと」「聞くこと」の問題は、ほぼ全国の傾向と同じでしたが、「読むこと」「書くこと」に課題が見られました。

【算数B】では、「量と測定」については、他の分野より良好な結果でした。一方、「数と計算」「図形」「数量関係」の問題は、ほぼ全国の傾向と同じでした。

同時に行われた「児童質問紙」では、国語への関心や言語活動、読解力の項目で高い傾向にありました。「読書は好き」と答えた割合も高かったです。一方「自尊感情」「生活習慣」「規範意識」の項目でやや低い傾向にありました。

《強み・弱み》

算数の補充学習である「すくすく算数」の取り組みは 6 年目となり、その成果としての計算力が向上したと考えています。方法や内容に検討を加えながら更に充実させていきたいと考えます。

国語では、ここ数年「話すこと」に焦点を当てて学習を進めてきました。「発表」、「自分の思いを話す」などの技能が高まったと考えます。今後は、「書くこと」（特に、「目的や意図に応じ文章を書く」）に指導の重点をおいて取り組みを進めたいと考えます。

【指導の充実に向けて】

葛川小学校は、1 つの学年が極少人数のため、6 年生の調査結果のみで学校全体の学力・学習の状況を結果分析し難いという実情があります。「良い傾向」「改善すべき傾向」は学年ごとに異なり、子どもの学力・学習状況を「集団（学年や学校全体）の特徴」として捉え指導の充実に生かすという考え方から、子ども一人ひとりの学力・学習状況を分析し指導改善していく中で学力の課題を解決していこうと努力してまいりました。今回の調査を受けて、以下の 5 点を重点として今後の指導の充実に努めたいと考えています。

- ① 授業における「協同的な学び」の推進を図り、子どもたちが自主的、主体的に学ぼうとする意欲をはぐくんでいきます。
- ② 成果の表れている「すくすく算数」（年間 20 時間）については、更に工夫改善を加えながら指導の充実に努めます。
- ③ 国語の「書くこと」について、「自分の考えを文章表記したり、より適切な表現に向けて『言葉を吟味すること』」について、国語学習・日記指導をはじめ、全教育活動で意識的に取り組みたいと考えています。
- ④ 言葉に対する意欲関心を高めるために、「すくすくことば」（週 1 回 10 分間）や「ぐんぐんタイム」（放課後 Back Up）の取り組みを継続しています。子どもたちがより豊かな表現ができるよう指導を進めたいと考えています。
- ⑤ 「家庭学習のてびき」をもとに、学習習慣の定着に向けた取り組みを一層推進するとともに、生活習慣の見直しについても、保護者と連携をとりながら進めたいと考えています。